

## 【提供情報】 コロナをきっかけとしたクラウド

～ 『FROM 本部』 と 『FROM 保護者』 ～

守谷市立大井沢小 PTA 副会長 上田 雄悟

PTA がクラウドを使う意味は何でしょう？

大井沢小(福田理明校長)には、元々『FROM 本部』という PTA 活動を保護者へ通知する手紙がありましたが、今年はクラウド上に各種手紙を保存して、その URL をメルマガで配信するやり方に変えました。

けどそれだけだと、紙が電子文書に変わっただけです。

クラウドを使う本当の意味は、『FROM 本部』に対する『FROM 保護者』ができることです。これまで一方向だった発信がクラウドで双方向にできるので、本部が行った施策や発信について、保護者がどう思っているか知ることができます。

例えば 10 月の運動会で、コロナ対策として入場制限(1 家族 1 名)を行ったのですが、それに対する意見は賛否両論でした。ですが、それらが来年の運動会の改善点ポイントになります。

今まで一方向だった発信が、コロナをきっかけとして、思いがけず双方向のやり取りになりました。元々大井沢小は『全員参加型の PTA』を標榜しています。双方向のインフラこそが、全員参加型の PTA を支える基盤になる、そんな感触を得ています。

